



Phnom Penh Kendo Club

趣意書

第12回 ASEAN 剣道トーナメント参加に際しての寄付金のお願い

2019年5月31日 プノンペン剣道クラブ

1. 趣意

プノンペン剣道クラブは2009年6月、剣道愛好家の日本人たちによって発足されました。その後、日本の剣道をカンボジアで広めることで日本の文化、武道精神の理解と青少年の育成を目的として参加者を募り、現在では6カ国20数名のメンバーが稽古に励んでいます。2012年には全日本剣道連盟よりカンボジア日本大使館の協力を得て剣道防具を寄贈していただきました。2015年には外務省草の根無償資金協力事業によってカンボジア日本武道館(CJTMC)が建設され、現在では週4回の稽古をしています(CJTMC：カンボジア日本伝統武道センター)。

対外的活動としては、対外試合は毎年ホーチミンでの大会参加や諸外国からの当地での交流稽古を行っています。また、毎年CJCC主催の絆フェスティバルへの参加、2016年には政府イベントへの参加等で、剣道を知ってもらう活動にも注力しています。

ASEAN 剣道トーナメントはASEAN10カ国が持ち回りで開催する大会で、3年に1度開催され、前回は2016年にタイで開催され、カンボジアチームは初出場でした。この時は近距離だったこともあり、個人からの寄付金などで賄いました。今回は開催地がジャカルタで、遠隔地の事もあり費用が嵩み、出場するカンボジア人(6名)の金銭的負担の軽減をたく、皆様に寄付金をお願いする次第であります。

なお、教育・青年・スポーツ省大臣より、プノンペン剣道クラブからのチームが、カンボジアナショナルチームとして同大会に参加することを認めていただいております。

2. 大会概要 別紙1

3. 予算(カンボジア人6人分のみの費用)

合計 5,000ドル

渡航費 400ドル×6人=2,400ドル

宿泊費 50ドル×(6人×4泊)=1,200ドル

食事費 30ドル×(6人×5日)=900ドル

雑費 500ドル(市内移動費、ファーストエイド、チームシャツ、チーム垂れ、バナー、他)

* 寄付を下された団体様のロゴは(口数に応じサイズが変わります)、大会用のバンナーに印刷、カンボジア国内で行われるイベントとアセアン大会期間中試合会場に掲げます。

* 使用していない防具や竹刀のご寄付も募集しています。

* 稽古指導 (夏合宿時はたぶん日本より涼しいはず。但し、道場にエアコンはなく扇風機のみです。)

連絡先: yumi.queen@gmail.com/phnompenhkendo@gmail.com



Phnom Penh Kendo Club

参考 1: プノンペン剣道クラブ概要

- ① 名称 プノンペン剣道クラブ (Phnom Penh Kendo Club)
- ② 会長 Hocklee Heng
- ③ 設立 2009年6月
- ④ 会員 20数名 (2019年4月30日現在)
 - 内訳 カンボジア 8名
 - 日本 8名
 - アメリカ 1名
 - フィリピン 1名
 - 台湾 2名
 - 韓国 1名
 - 他

参考2: 参加メンバー 計 10名 (カンボジア人選手 6名、日本人引率 4名)

CAMBODIAN NATIONAL TEAM
 for the 12th ASEAN Kendo
 Tournament



TAKAHISA WAKISAKA
Head Coach



YOSHIDA SAKAE
Coach



ISHIMOTO YUMI
Manager



NAKANO NAOMI
Manager



HENG HOCKLEE
Delegation Head



KHEANG BUNCHEANG



VENG PITOU



SRUN MUNNY OUDOM



PICH TARARITH



THA SREYNUTH